



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

2

February
2007
vol.406

医学
講話

発熱から見えるもの。誤嚥にご縁あり

福祉村病院院長 小橋 修

特集

あなたはどこで暮らしたいですか
～障害者・高齢者の生活の場を考える～



発熱から見えるもの。 誤嚥にご縁あり

福祉村病院
院長 小橋 修

(1) 誤嚥による発熱

体温、脈拍、血圧と呼吸状態は人

切な指標で、呼吸が早い、動悸がする、脈が速い、元気がない、食欲が低下するといった全身状態の他に、抑うつ状態、イライラ、頭痛、不眠といった精神症状も高齢者が訴える重要なサイン。60歳以上の人は胃内容物の逆流が起こりやすく、ほぼ100%に誤嚥がある。認知症や脳

血管障害で嚥下機能が落ちると誤嚥

はさらに頻発する。気道に物が入ると咳込むが、咳をする力が落ちてい

ると知らないうちに肺炎を起こす。

37・2℃前後の微熱を繰り返す不顕性肺炎から明らかな誤嚥性肺炎まで

見られる。高齢者に限らず疲れきつて寝こんでしまうと、熟睡中に唾液

や胃液などが気道に入り込んで、翌朝高熱を伴う肺炎となることがある。

高齢になると虫歯、歯槽膿漏が増えるので、寝る前の歯ミガキとうがい

は重症肺炎の予防になる。腹臥位療法、腹式呼吸法、トランポピクスに

よって心身を常に健康に保つことと、

不顕性肺炎が認められるようになる前に高齢者ソフト食などを工夫して誤嚥を予防することは普段の心がけとしたい。喉の反射機能をアップする半夏厚朴湯、精神機能も高める抑肝散、元気がなく食欲低下なら全身の免疫機能も高める補中益気湯や六君子湯も有効である。

ベッド上安静や寝たきりは便秘を

常習化する。寝たきりでなくても高齢者は腸内ガスが溜まり、麻痺性腸

閉塞に近い状態になることが多い。

胃に内容物が溜まっている時に、機械的にオムツ交換や褥瘡予防の体位

変換をすると嘔吐が誘発されるので、食後は少なくとも30分位は座位安静

を保つ。パルスオキシメータで測定された酸素飽和度の低下は、吸痰に

より痰詰まりの改善と呼吸刺激で改善されることが多い。喉頭から気道

にかけてゴロゴロ音があると、直ちに痰や気道の異物の吸引が始まるが、吸痰操作や口腔ケアも嘔吐を誘発す

るので、注意深いケアが望まれる。

誤嚥された胃内容物や胃酸が直接気道粘膜を障害し、続いておこる細菌感染により高熱を伴う誤嚥性肺炎となる。多くは抗菌剤の静脈内投与で解熱するが、感染防御力の落ちてい

る場合や耐性菌による肺炎では回復

は長引く。化学物質刺激による肺炎が強い場合には解熱に2〜3日から

1週間程度を要し、心肺機能が落ちて

いるとさらに胸水や肺水腫をきたし重篤になる。腸内ガスが溜まりや

すく、麻痺性腸閉塞に近い状態に対しては予防的に大建中湯が有効なこ

とがある。

(2) 便秘による発熱

食欲がありよく食べていた人が、腸の蠕動機能が低下したため、糞詰まり状態となり嘔吐、発熱をきたすことがある。毎日の排便コントロールは重要であるが、腸の蠕動を刺激する下剤による腸穿孔に注意が必要である。長期に及ぶ中心静脈高カロリー栄養の患者で、下剤使用後にし

発熱は体が危険を感じた時に発する重要なサイン。高齢者で頻度の高い症状は発熱と便秘、共に誤嚥と深く関係している。一般に発熱があると、白血球が増えCRPが高値を示す。好中球優位なら細菌感染、リンパ球優位ならウイルス感染と習ったが、高齢者では、ウイルス感染後に細菌感染も同時に起こることが多く迷う。発熱は感染症ではない、喘鳴は気管支喘息ではないとは、内科レジデントの鉄則にあるが、福祉村病院で遭遇する発熱にはいくつかの興味あるパターンがある。

ばしばば微熱が見られる時には、腸結膜が極端に薄くなっている、強制的な腸の収縮を起こさせる下剤によって腸粘膜に損傷を生じ、腸管から腸内細菌の血液中への侵入（菌血症）を誘発している可能性もある。抗菌剤は細菌の破壊により、エンドトキシンをはじめ菌体成分を遊離し、強い炎症反応を惹起することもある。しかし炎症反応上昇＋肺野変化＝肺炎とは限らず、心不全、敗血症、胆のう炎などによる二次性の肺野変化を疑う必要がある。肺炎の診断には聴診と胸部X線が重要だが、胸部CTでは、繰り返す不顕性誤嚥によるびまん性細気管支炎や胸水などの多くの情報が得られる。勿論、嘔吐の場合には、腸閉塞の鑑別のため腹部X線が撮られる。



(3) オムツに関連した発熱

オムツは、尿路感染、膣感染、褥瘡感染の温床となる。尿路感染が疑われれば早期に抗菌剤が投与されるが、感染はすぐ慢性化してしまう。

褥瘡の感染も避けられない。褥瘡部の不良肉芽の切除や、胃瘻増設によって組織損傷による発熱も見られる。

(4) 中心静脈高カロリー栄養に 関連した重篤な発熱

誤嚥性肺炎を繰り返すと、経口摂取や胃瘻による経腸栄養を中止して、中心静脈高カロリー栄養管理となる。カテーテル挿入部位からの細菌感染は必発である。侵入した細菌がカテーテルの先にバイオフィームを作り、そこから絶えず血液中に菌を送り出し、感染防御力の閾値を超えると、ある日突然38℃から40℃以上の高熱を伴う菌血症となる。抗菌剤で血中及びバイオフィームの表面の細菌を殺し一時的に解熱しても、早晚バイオフィーム内に残っている細菌が増殖し、一兩日の間に再び高熱を伴う

菌血症を繰り返す。抗菌剤の投与ではバイオフィーム内の細菌をすべて殺すことはできず、逆に耐性菌を作ってしまうので、直ちにカテーテルを抜去して抗菌剤の使用は極力控えろ。末梢静脈注射も48時間留置すると菌血症は必発であることも注意しておく。さて、カテーテル抜去で急速に平熱になるが、平熱になるまでに長引く場合、感染性心内膜炎、他臓器の感染巣の存在、さらに腸管粘膜を乗り越えて腸内から細菌が絶えず血中に入りこんでいる可能性なども考慮して治療する。腸管フローラの保持と腸管免疫を活性化するクルリスとレベニン、貧血を改善したり骨髄機能を高め幹細胞を増やす十全大補湯の併用も有用である。

(5) 脱水および体温中枢の変調 による発熱

温度調節が出来ず、外気の温度に応じて体温が変動する高齢者特有の不思議な発熱がある。37℃から39℃前後であっても、クーリングだけで

平熱になることも多い。高齢者でも子供が興奮し過ぎて高熱を出すような機序で熱発することもある。高齢者の脱水も注意すべき発熱の原因の一つで、補液のみで解熱する。このように発熱の原因はそう単純ではない。入院患者さんの体温のわずかな変化にも、「なぜ！なぜ！」「どうしてこのような変化が起こるの？」としっかり観察し、「こうかもしれない。」「でも、それ本ッ？」という習慣をつけるとともに、「こうすればいいよ。」「こうすればできるよ。」と解決策を言えるように日々研鑽する中から、高齢者のよりよい生き方のための養生訓も見えてくる。



森外科クリニック院長 森 澄

土筆

年が明けて時に温かい日差しが差すようになると、待ちきれない思いで近くの田圃に芦摘みに行っていました。きれいに洗って根を切つて

整理した片を先輩のY先生に差し上げると、一ヶ月位後で必ず土筆をお返しに頂けます。こんなやり取りが何年も続いていましたが、お互いに老いてきたため最近中止しています。

土筆は早春の川提や野原や畦の雑草とまじって群生します。トクサ科のシダ植物で、杉菜の地下茎から生える胞子葉を上筆と言います。地面の中で杉菜と土筆は繋がっていて、杉菜は葉、土筆は花のようなものです。

早春の日差しがふりそそぐうらかな堤防などに行つて、腹這いで地

面を透かして見られればきつと何本かの筆の先のような土筆の穂が頭を出しているのが見つかる筈です。

土筆の茎は淡褐色で節をもち、節ごとに俗に袴といわれるパリツとした輪生葉をつけています。茎立ちの若い頃は重なり合った袴を頭から被っている穂は、茎の節の間が数センチの間隔になるほどのびる頭顔を出します。

穂は姿は筆の穂先のようなのですが、よく見ると亀の甲のような寄せ木細工のような殻で覆われていて、もつと成熟すると胞子は風に乗って飛散します。

野原の雑草の中で可愛らしい小人達のように、あたり一面にツクン・ツクンと土筆が出てくる様子は、まさにSpring Meという表現がぴったりで、春の実感として受け取られる光景です。

茎は柔らかく濃厚な甘味があります。土筆和えにしたり佃煮や酢のものも風味があります。

私達の住む豊橋には、まだまだ

自然が身近に沢山見ることが出来ます。自然と接しよく観察し感動を覚えることから自然も大切にすることが出来ます。この街を大事にしたいと思っています。

立子

看護師さんシリーズ⑥

今から十二年前、私は名大病院で「臍頭部粘液産生性嚢腫」で「胸門温存臍頭部十二指腸切除術」を受け六週間入院しました。執刀医は二村教授でした。私は二村教授は日本一の外科医と思っています。

出身母校の外科に入院するのでから決して医者らしい言動は謹もうと心に決めていましたが、術後すぐから抗生物質の副作用と思われる下痢が一日に十回位続きました。下痢を催すと腹部の二本のドレーンを点滴に掛けてトイレに直行するのですが、抜糸も終わっていない腹には堪える仕事でした。

ガストログラフィンで吻合部のリ

ークはない事は確認されてきましたので、十日目に始めて医者らしく下痢止めを要求しましたが、夕方になっても受持医は薬を持って来ませんでした。が、請所の師長さんの強い電話でやっと持って来てくれて、服用を始め、下痢は次第に治まってきました。

こんな経験から「患者がナースに何を求めているか」を調べてみました。総務省の少し古い統計です。

①病気の状態を医師にす早く連絡する。②優しく親切にしてくれる。③つらい気持ちや不安を理解してくれる。④病状・検査・薬の説明。⑤注射や包帯巻きが上手。の順でした。急性期病院や老人病院等治療対象が異なれば、患者さんの要求も少しずつ違ってくるかも知れませんが、いずれにしても看護師さんは患者のバイタルの観察を冷静に行つて終わりとせず、意志や感情や不安を持った人間と向き合うという気持ちで患者さんと接していただきたいと思っています。

夢につながる大切なこと
〜中学生職場体験〜

さわらび会では、子供たちに生命の大切さや、他者への思いやり等を体験学習や交流からつかんでもらえたらと様々な体験学習を受け入れていきます。

さわらび荘では先日、石巻中学校2年の浦田智香さんが職場体験を行い、その体験をまとめた冊子を届けられました。その中より抜粋して紹介させていただきます。

「私が何でさわらび荘を選んだかという、将来の夢が介護福祉士になりたいからです。おじいさんやおばあさんと接することが好きで、小学校の頃に福祉関係の仕事につきたいと思い、体験場所を決めました。」

私がやった仕事は、洗濯物を干したり、畳んだり、掃除をしたりその他。秋だというのに半そで短パンで仕事をしていても、だんだんと汗が出てくるので大変でした。大変な仕事が多いけどやりがいがあったて楽し

かったです。おじいさん、おばあさんと一緒に洗濯物を畳みました。初めて会った見知らぬ私にめちゃくちゃ優しく教えてくれました。うれしかったです。

さわらび荘で、一番大切なことは、一人一人が違うからその一人一人のペースに合わせることに、安全第一、コミュニケーション、笑顔が大切と教わりました。

今回の職場体験でいろんなことを学びました。笑顔じゃないとコミュニケーションもとれないから大変なこともありましたが、二日目になるとだんだんとコミュニケーションもとれてよかったです。もし今度このような体験をするときには、笑顔を心がけようと思いました。」

さわらび会では、未来を担う子供たちのために教育環境としての施設の役割をさらに強化していくことが、重要であると考えられています。



福祉村保育園だより

福祉村保育園が開園して、この春で三年が経とうとしています。保護者の方々が安心して働きながら子育てができるよう保育の充実と、教育の充実を図ってきました。

子ども達は豆まきや雛祭り会などの毎月の行事や、年末には珠藻壮の餅つき会へ参加するなど、さまざまに体験を通して園生活を楽しく過ごしています。

昨年からは園だよりの発行や個人懇談会なども始めました。個人懇談会では、子ども達の成長記録の閲覧や、園生活や家庭での様子などを交流し、保護者とのコミュニケーションを深めています。

毎月末の小音楽会では各クラスに分かれ、歌や手遊び、詩の暗唱、タンバリンの発表をします。子ども達の元気な歌声がホールいっぱい響きます。



▲小音楽会で元気に歌を歌いながらタンバリンをたたく子ども達の様子

また、地震などの災害に備え、防災頭巾をかぶり避難する訓練を隔月で行っています。はじめは頭巾をかぶることをいやがる子どももいましたが、今ではみんな上手にかぶり、指定の場所に集まることができるようになりました。

また、保護者の方やさわらび会の職員の方々のご協力の下に資源回収も行っています。市からの奨励金で、昨年も絵本や紙芝居を購入することができました。皆様のご協力に感謝しています。

今年もよりよい保育ができるよう努力し、子ども達のすこやかな成長を見守って行きたいと思えます。

平成18年度

グループホーム・ケアホーム スタッフ研修に参加して

あかね荘さわらびホーム

1月14、15日に蒲郡三谷温泉「平野屋」にて「グループホーム・ケアホームスタッフ研修会」が開催されました。

平成18年10月に障害者自立支援法が完全施行され、もつとも大きく影響を受けたのは、グループホーム事業でした。施設から地域への移行にともない重度の障害を持った人達が「地域の中でふつうの暮らしができるのだろうか」不安を抱えての研修会でした。

さわらびホームから4名の利用者の皆さんが研修会に参加し、豊橋市で障害者自立支援法に関する「本人シンポジウム」を開いたことや、自分達の生活に関して意見を述べました。また、「本人を中心とした個別支援計画の作り方」においては、将来の夢や思いを語ってくれました。

(池田)



山下朝子(村山ホーム)

私達はシンポジウムを開いた話や市長さんへ手紙を出した話をしました。参加したみなさんが私達の声をきいて自分たちのすんでいるところでも声をあげていきたいといっていました。

みんなで声をだしていけばきっと「障害者自立支援法」もかわっていいと思います。

がんばるぞ エイ エイ オー!

◆さわらびパトロール隊

栄校区地域安全 パトロール連絡会に参加

第二 福祉コンビニ派生

あかね荘グループホーム入居者らが参加する栄校区地域安全パトロールは、開始から半年が過ぎました。

最初の頃は、小学生と関わるのが初めてで恥ずかしくて挨拶ができません。メンバーがいましたが、小学校に出向き自己紹介をしたところ、児童の皆さんからたくさん声をかけてもらえるようになり、今では全員笑顔で挨拶が出来るようになりました。「こんにちは、って挨拶してくれたね。嬉しいなあ。」と子どもたちに会うことを楽しみにしているメンバーもいます。

皆も大分慣れてきたころ、栄校区総代長より、私たちを改めて紹介したいとお誘いを頂き、校区内パトロールの全体連絡会にて福祉コンビニやグループホームの説明と自己紹介をしました。今回は学校関係者だ

けでなくPTAや警察、消防関係者の前で挨拶をさせて頂きました。

メンバーを代表し、グループホーム入居者の河辺勝太さんが「これからも頑張って続けていきたいです。」と力強く挨拶をしました。皆さんに「頑張ってください。」と声を掛けられ、大変励みになりました。

また昨年の夏頃から「まちなかクリン活動」と題して、パトロール時に町内の公園等のゴミ拾いを行っています。今後も継続して行い、自分たちの住んでいる地域がより住みやすい地域になるよう努めていきたいと思えます。また、これらの活動をきっかけとし、交流の場面が増えていくことを期待しています。

(佐藤)



あなたはどこで暮らしたいですか。

● 障害者 高齢者の生活の場を考える



「あなたは、どこで、どのように暮らしたいですか？」

この問いに対して、「今のまま、家族と一緒に暮らしたい。」「ずっと住み続けているこの地域で自由な生活を続けたい。」「病気になるっても自分の家で安心して暮らしたい。」という思いがよく聞かれます。

こうした思いに対して、障害によって今までの生活を継続することが困難な状態になった時、これまでの福祉施策では施設入所が中心となって進められてきました。それが近年の福祉改革では「施設支援」から「地域支援」、「脱施設」といった論調が盛んになり、さわらび会でもこの課題に対して、知的障害者の地域移行を中心に積極的に取り組んでいます。

「居住する空間」は誰もが疲れや緊張を癒す、快適でゆったりとした場所であることが望まれます。この大切な空間について、今回は重度の身体障害者、高齢者を中心に考えてみます。

障害者のお住まい

障害者の分野では、障害者自立支援法の施行により、施設の体系が大きく変わります。その大きな柱として、「口中活動の場」と「住まいの場」の分離がはかられますが、これは従来の人所施設で行われていた「一日を通してのサービス」が「昼のサービス」と「夜のサービス」に分けられることとなります。これにより、施設に入所していても口中活動の場を自由に選択が出来るようになり、すし、逆に住まいの場所としても、従来の人所施設の他、グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム等組み合わせも選択が可能になります。



こうした中、障害者生活支援センターには居住に関する相談で、次のようなケースが持ち込まれていきます。

●「障害を負って入院中だが、退院の話が出ている。自宅はバリアフリーになっていないので、車いすでも生活が出来るようにしたい。」

●「高齢の親と一緒に住んでいるが、親が私を介護出来ない状態になった時、施設に入れてもらえるか。」

●「施設に入所をしているが、地域で一人暮らしをしたい。」

◎バリアフリーの住居を

重度の身体障害を持つ方にとって、まず「生活をする場所」の問題で大きな制約が生じます。バリアフリーにするための改修工事には制度を使って補助が出ますが、それでも多額な費用がかかる場合が多くありますし（もちろんどの程度の工事をするかで全く変わってきますが）、人ひとりの状態に合わせて慎重に工事を

進めないと、せっかく改修しても結

ています。

局は上手く活用できないことにもなりかねません。福祉用具の活用とも合わせて、改修業者任せにするのではなく、医療、福祉の専門家にも相談することが重要になります。

また、施設や病院を出て、新たに居住する場所を探す場合も、バリアフリーの住宅を探すことは簡単ではありません。民間の賃貸住宅は大家の理解が重要ですし、公営住宅もバリアフリーの所は希望者が多く、簡単に人は居できない現実があります。

特に、地域生活をする上で重要な交通の便が良い所や、近くに買い物ができる所はなおさら希望者が多くなっ

知的障害者や精神障害者で利用さ

れているグループホームやケアホームを身体障害者の方も活用できるように検討される必要がありますし、福祉ホーム（住居を必要としている

障害者に低額な料金を居室等を提供

し、日常生活に必要な支援を行う。豊橋市では現在未整備）の整備も重要な課題になると思われます。

◎24時間の安心できるサービス

重度の身体障害者が一人で地域生活をおくる場合、緊急時の対応システムや24時間体制の介護サービスが重要です。ところが、まだ早朝や夜

連携も課題となっています。

さわらび会では、24時間体制で支援を展開している福祉コンビニがありますが、こうした小規模多機能の支援機関を充実させていく必要があります。

◎地域での生活体験を

障害を負ってから、一人暮らしに初めて挑戦をしようとする方にとつ

ては、実際の生活体験がないために、具体的なイメージや生活課題がわからず、不安ばかりが先攻して地域生活に消極的になってしまう側面も見られます。こうした方々に対しては、生活体験実習を行いながら、実際の一人暮らしをイメージしていただく必要があります。そこで、福祉村の職員宿舎の中には、自立体験室が用意してあります。支援センタースタッフがお手伝いをしながら、施設利用者や地域で家族と生活している方に一人暮らしの練習をしていただくことが出来ます。



▲自立体験実習

高齢者のお住まい

高齢者の分野でも高齢者医療、福祉改革の影響で、慢性病等で長期の療養を必要とし、比較的容体が安定した患者が入る療養病床の再編が決められ、その受け皿が課題になっています。

また、自立した生活が出来る高齢者でも、大家が高齢者を敬遠しがちであるために、賃貸住宅への入居が難しいという問題もあります。

介護が必要な高齢者に対しては、介護老人保健施設や介護老人福祉施



▲福祉コンビニ

間のヘルパー派遣が提供できる事業所は充分とはいえませんが、その中でも医療的なケアが必要な方に対しては、訪問看護等との

■高齢者の住まい

自宅	介護保険、在宅療養支援診療所等のサービスを受け生活。現在では気の合う仲間と共同生活（グループリビング）をする人達もいる。
軽費・ケアハウス	60歳以上の方で身体機能の低下または高齢等のため独立して生活するには不安がある人で、家族の援助が困難な人が入居。食事、入浴、相談援助、健康管理等のサービスが提供される。必要に応じて介護保険のサービスが利用できる。
有料老人ホーム	食事の提供、その他日常生活上必要な便宜を提供する。介護サービスのない施設や終身介護する施設等、いろいろな種類がある。
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	65歳以上の方で、身体上または精神上著しい障害があるために常時介護が必要で、かつ家庭で介護を受けることが困難な人が入居。施設サービス計画に基づいて必要な介護、食事、入浴等のサービスが提供される。
介護老人保健施設	65歳以上の方で、病状安定期にあり入院治療する必要はないが、医療ケア等を必要とする人が入所できる。施設サービス計画に基づきリハビリ、看護、介護を中心に医療ケアが行われ、在宅復帰を支援。
介護療養型 医療施設	長期にわたる療養を必要とする要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて療養上の管理、看護医学的管理のもと介護等が提供される。2011年度までに介護型の廃止等、療養病床の再編が予定されている。
その他	グループホーム、養護老人ホーム、生活支援ハウス、高齢者専用賃貸住宅、高齢者向け有料賃貸住宅 等

設（特養）、ケアハウス、グループホーム等の施設が整備されており、このうち介護老人福祉施設では、全室個室のユニット型も整備されています。また近年では、民間の有料老人ホームの他、「高齢者専用賃貸住宅」、「高齢者向け優良賃貸住宅制度」等、高齢者の賃貸住宅入居を支援する制度や住宅も現れています。豊橋市では「豊橋住宅マスタープラン」が策定され、その中で高齢者対応住宅の普及が検討されています。こうした取り組みの中から、介護保険のサービスと組み合わせながら、様々な地域生活支援が広がる可能性があります。

◎相談事業の活用を

いずれにしても、まだまだ福祉施設としては充分ではありませんが、選択肢は広がっていますし、当然、人ひとりが望む生活形態もさらに多様化していくと思われれます。

「どこで暮らしたいか」という問いに対して、前述のように地域での生活を望む方が多く見られる一方で、「家族には迷惑をかけたくない」という声も数多く聞かれます。

従来、障害者や要介護高齢者が地域で生活するにあたっては、家族の介護が中心となっており、ぎりぎりまで家族が介護を担い、倒れたら施設へ入所するという流れになっていました。

しかし、これからは地域で生活するにしても家族だけに頼るのではなく、施設を利用するにしても生涯その中で暮らすのではなく、施設を活用しながら、新たに自分の生活を作り出していくことが大切になります。

その際には、その方に合わせた生

活を一緒に考え、福祉サービス等の調整も行う相談支援事業所の活用が重要になってきます。さわらび会では、身体、知的、精神の各障害に対応する生活支援センターや、高齢者を支援する包括支援センターが協力する等、家族全体の総合的な支援が可能ですので、ご活用下さい。

また、今年からさわらび会在宅医療福祉部を設立し、利用者にとって満足のいただける医療と福祉のサービス提供の構築をしてゆきます。地域の生活が最終的な目的になるのではなく、地域の中で孤立することなく、自分らしく幸せに、「どのよう」に暮らしていくか」という視点が大事になってきます。

そのためにも、さわらび会の各施設は今まで以上に「通過施設」としての役割を充実させ、各支援機関と協力をしながら、地域の中のサービス拠点として、より柔軟に活用され、その機能を生かしていくよう努めていきます。

（さわらび編集スタッフ）

山本左近 チャレンジ2007 F1&GP2



スーパーアグリF1

SUPER AGURI F1 TEAM

●写真/IMAHARA Taro (TIPP)

BCNコンペティション

BCN Competition



10代前半レーシングカートで数々のタイトルを獲得する活躍をし、2001年F3ヘステップアップ(シリーズ日本人最高位の4位獲得)。

2002年にはドイツF3選手権、2003年にはユーロF3選手権に参戦。

2004年からは再び活動拠点を日本に置き、全日本F3選手権に参戦。ツインリンクもてぎでの第20戦でぶつちぎりの優勝。

2005年シーズンからは、フォーミュラ・ニッポンに近藤真彦監督率いるKONDOレーシングから参戦した。また、スーパーGTでは片岡龍也選手とコンビを組み、GT500クラスで初優勝を成し遂げる。そして2005年10月のD1日本GPでは、金曜フリー走行においてジョーダンのサードカーをドライブし、レギュラードライバーを上回るパフォーマンスの驚速を日本のファンの前に示した。直後のフォーミュラ・ニッポン第8

戦(ツインリンクもてぎ)では、チャレンジオン本山哲を最後まで追い詰めたの2位表彰台を獲得した。

そして昨シーズン、当初は、フォーミュラ・ニッポンでは引き続きKONDOレーシング。SUPER GTではNISMOに移籍。ミハエル・クルムとともに参戦した。

2006年6月のD1イギリスGPよりスーパーアグリD1チームのサードドライバーとしてF1でのキャリアを再開し、ドイツGPからはフランス・モンタニーに代わってセカンドドライバーとして、夢のF1レーシングドライバーとして日本人最年少デビュー。そして、最終戦ブラジルGPでは、ファステストラップ7位、なんとセクター2ではMシューマッハに次ぐ2番手のタイムをたたき出したことは記憶に新しい。

このようにさまざまなカテゴリーのレースでマルチな活躍をしてきた山本左近選手。それだけでも彼の才能の高さを感じることが出来る。そして2007シーズン左近選手は、スーパーアグリF1チームのリザー



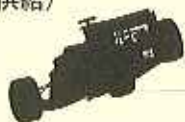
BCN Competition Team公式ホームページより
<http://www.bcncompeticion.com>

GP2とは?

F1とF3の間に位置するF3000クラスのフォーミュラ・カテゴリー。F1にステップアップを狙うドライバーが数多く参戦している。

国際F3000選手権を発展的に解消しGP2シリーズとして2005年から新発足した。

車体はダラーラ、エンジンはルノー、タイヤはブリヂストンのワンメイク(1社独占供給)でレースが行われる。



GP2 レースカレンダー

- 01 • 04/15 バーレーン
- 02 • 05/13 スペイン バルセロナ
- 03 • 05/26 モナコ
- 04 • 07/01 フランス マニクール
- 05 • 07/08 英国 シルバーストーン
- 06 • 07/22 ドイツ ニュルブルクリンク
- 07 • 08/05 ハンガリー ブダペスト
- 08 • 08/26 トルコ イスタンブール
- 09 • 09/09 イタリア モンツァ
- 10 • 09/16 ベルギー スパフランコルシャン
- 11 • 09/30 スペイン バレンシア

ブドドライバー兼テストドライバーとして、また新たなカテゴリーのレース「GP2」でBCNコンペティションチームよりフル参戦することがBCNコンペティション公式ホームページより発表された。

左近選手はインタビューに答え、「GP2のようなコンペティティブなシリーズに参戦できることとなりとても嬉しく思うとともに、とても興奮しています。このチャンスのために尽力してくれた全ての人々に感謝しています。自分の能力をこのシリーズで最大限発揮したいと思っています。早くGP2マシンをドライブします。」



▲エンリケ・スカラブローニ社長と

「たいですね。テストが待ちきれないです」と抱負を語った。

施設長直筆の書で 季節感を



ジュゲム施設長
金井芳之

耐えの耐え
存心みえし
初詣



べつに信者ではないが、今年も昨年同様元旦に明治神宮に初詣でした。午後の三時頃が参拝時と心得、赴いた所、人だかりは除夜の鐘直後と替わらず、参道の入り口から拝殿まで二時間半も掛かってしまった。初詣客は老若男女、外国のひと、予づれのひと、車椅子のひとなど、ざっと千人はその時だけでも越えていたであろうが、大勢の警察官の誘導で何の騒動も起きず、皆幸せそうに参拝を済ませた様で、私も何となく心の安寧を得ることができた。いつしか参道の右肩には新年初の朧月が静かに微笑んでいた。雑踏の中での初詣、耐え忍んだのちの物の達成感の軟びを教えてくれた。

明日香クリスマス忘年会で 「がんばったで賞」を発表

昨年の12月23日(土)に豊橋パークホテルにて明日香のクリスマス忘年会が開催されました。利用者とその家族、職員を合わせ、総勢131名が参加して、一年の締めくくりと来年へとつながる楽しい忘年会となりました。

その席で、明日香では毎年「がんばったで賞」という賞を発表しています。「がんばったで賞」というのは、その年に仕事や生活面をがんばった人だけではなく、影の支えとしてがんばった人にもスポットを当てて選考される賞で、昨年は5名の方が受賞されました。受賞された方は、今年度から始まった実習作業でがんばったなかまや職員の補佐として作業をがんばってくれたなかま、そして自分の作業だけではなく職員の手伝いを毎日してくれたなかまなど本当にいつもがんばってくれた方です。

この賞を受賞した名倉雪子さんはこのように話してくれました。賞をもらえてうれしいです。またもらえるように実習をがんばりたいです。

この賞を励みに、受賞された方は今年も取れるように、そして選ばれなかった方は今年こそは受賞されるようにがんばってほしいと思います。

●受賞者

林奈日世さん 河合真弓さん
山口松吾さん 岡村正子さん
名倉雪子さん



「お遍路さん」



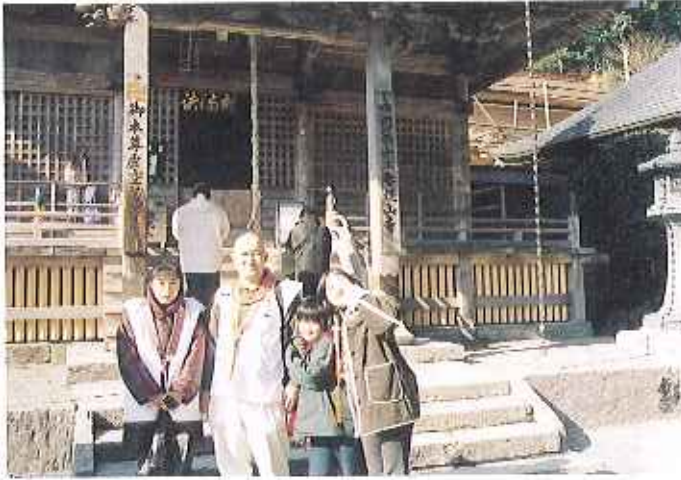
四国八十八ヶ所霊場めぐり

福徳村病院副院長 伊莉弘之

第八回 遍路の元祖が死んだ寺

第十一番藤井寺から第十二番摩慮山(まろざん)焼山寺(しょうざんじ)まで車で2時間。標高九三八メートル。車の無い頃は険しい山道を一日がかりで歩いた。ここは「遍路ころがし」といわれた阿波の難所。お遍路めぐりを実感できる場所。この寺の近くには、遍路の元祖といわれる伊予国の衛門三郎が病死した「杖杉庵」がある。衛門三郎はたいへん欲の深い男だった。ある日托鉢僧が家の前に立

の前に立



った。三郎が馬の鞭で托鉢僧を追い払った時に僧の手から托鉢が落ち、八つに割れ散った。その翌日から三郎の八人の子供たちが八日間のうちに次々に死んでしまった。実はその托鉢僧は弘法大師だった。「子供が死んだのは自分のせいだ」と考え、三郎は大師のあとを追って八十八ヶ所を歩いた。二十一回まわって、やっと焼山寺で大師に会えた。大師に「何か望みはあるか」ときかれ



「もう一度生まれ変わり民衆のために功德をつみたい」と言い残して息を引きとった。大師はこの時「衛門三郎再来」と書いた石を三郎の手に握らせ再来を祈願した。第五十一番石手寺には、生まれてきた子供が「衛門三郎再来」と書いた石を握りしめていたという、その石が残っている。「すごいね。マリツクさんみたいだね」と中一の娘。

あゆみの箱の皆様からご寄附をいただきました

珠藻荘では、社団法人あゆみの箱様よりデジタルカメラのご寄附をいただきました。施設利用者の皆様も大変

喜ばれ、日々の生活や行事

などでも大切に

使わせていただ

いております。ありがとうございます。



社団法人あゆみの箱

俳優の森繁久彌さんと役者仲間の皆さんが、昭和38年に「小児マヒの子供たちに力を」と街頭募金を始めたものです。現在では銀行やお店などに2万個の募金箱が置かれており、全国から集まった寄附金は障害者の支援に充てられています。

さわらび会後援会 寄附ご芳名

(H18・11・15～12・14)

- 一、市内南小池町一六七 松井展子氏 貳万円
- 一、市内小池町七五 坂神たす氏 貳万円
- 一、春日井市藤山台五〇一―一三 牛田茂行氏 参萬円
- 一、市内向草岡町字北新切二八 加藤年夫氏 壹万円
- 一、市内牧野町九〇 小松ウメ氏 伍千円
- 一、市内雲谷町字ハシツメ七一九 近藤百弘氏 六萬円
- 一、名古屋南区西又兵衛町字日一―二三 ハヤシリハビリ株式会社 壹万円
- 一、市内東新町二―四 (株)日医工新和 壹万円
- 一、市内東雲町四七 梅村敏夫氏 八千円
- 一、市内大清水町字富士見八〇四―一 藤松谷建設 壹萬円
- 一、市内小池町三六―一 共和印刷株式会社 伍千円
- 一、市内高塚町神山六八 山京敏明氏 伍千円
- 一、市内中岩田二丁目一―一三 白井良治氏 壹千円
- 一、豊川市正岡町胡麻田七三二二 (株)マルスホームデザイン 伍千円

- 一、市内弥生町西豊和九―九 林 昭氏 壹万円
 - 一、市内菅町三〇 (株)中野新松商店 壹万円
 - 一、市内瓜郷町前川五〇―一 鈴木弘生氏 壹万円
 - 一、市内間屋町一五―一五 (株)スズケン 壹万円
 - 一、市内東田町一五四 (株)竹田商店 壹万円
 - 一、市内飯村北二丁目二六―一六 (有)滝川器械店 壹万円
 - 一、市内東陽三丁目一―一七 森田由利子氏 壹万円
 - 一、市内白河町一〇〇 中部ガス株式会社 壹万円
 - 一、市内神野埴頭町二 神野臨海株式会社 壹万円
 - 一、市内野依町山中一九―一四 福祉村病院職員有志 四千円
 - 一、さわらび会共同行事実行委員会 六千七百伍拾円
 - 一、匿名希望氏 壹萬円
 - 一、匿名希望氏 壹萬円
 - 一、匿名希望氏 壹萬円
- その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
- 計 参拾参萬四千壹百伍拾円
- 現在までにご寄附いただきました金額は 八億壹千参百参拾萬 四千八百六拾六円

インド福祉村協会 寄附ご芳名

(H18・12・11～H19・1・10)

- 一、名古屋市中区新栄一―七―一 東海労働金庫 四千円
 - 一、名古屋市中昭和区山花町五〇 医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏 伍萬円
 - 一、豊明市西川町篠原二―一―六 奥田恵子氏 参萬円
 - 一、神奈川県横浜市南区中三―一―一 横倉典子氏 壹萬円
 - 一、東京都豊島区高島一―九―一六 ヴルシユ左徳里氏 参萬円
 - 一、春日井市平方丘二―一〇五―一五 中澤志げ子氏 伍千円
 - 一、市内野依町字山中一九―一二 (株)福祉村病院募金箱 貳千円
- 計 壹拾参萬壹千円

募金方法(インド福祉村)

- 振込先 郵便振替・郵便振込
口座番号 〇〇八二〇二二六五〇〇八
インド福祉村協会
〒四八二―一三三八まで
- 連絡先 豊川老人ホーム若菜荘
〒四八二―一三三八まで

お礼コーナー

ありがとうございました

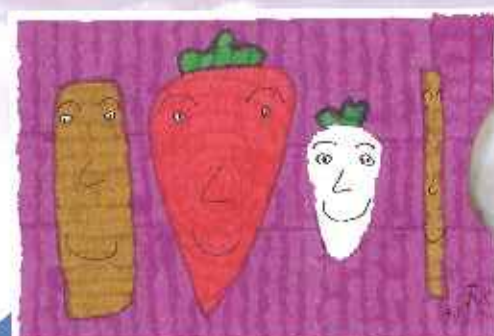
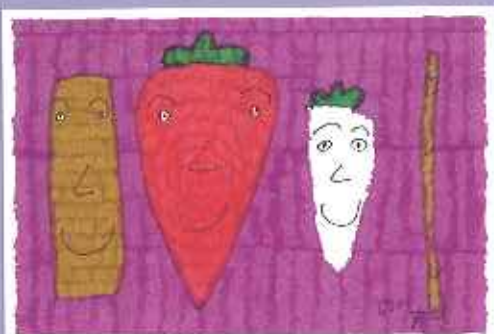
- ※印は非営利の善意寄付を指して
- ▼愛知県地域婦人団体連絡協議会様 粉石けん寄贈 (珠蔭井 あかね荘)
 - ▼中村光代様 茶葉寄贈 (珠蔭井 あかね荘)
 - ▼神藤製麺様 年越しそば寄贈 (珠蔭井 さわらび荘 第二さわらび荘 若菜荘)
 - ▼(株)あゆみの箱様 デジタルカメラ寄贈 (珠蔭井 若菜荘)
 - ▼(株)松喜屋様 クリスマスマスケーキ寄贈 (珠蔭井 あかね荘)
 - ▼(株)中野新松商店様 花かつお寄贈 (珠蔭井 若菜荘)
 - ▼武雄山後援会様 大札幌カレンダー (珠蔭井)
 - ▼ナカノフドー建設様 クリスマスマスケーキ寄贈 (珠蔭井 若菜荘 第二さわらび荘 明日香 しるがね)
 - ▼金子幸一様 米寄贈 (あかね荘)
 - ▼松澤芳登様 みかん寄贈 (あかね荘)
 - ▼松音寺・樹松院・大徳寺・大円寺・東雲寺様 餅寄贈 (あかね荘)
 - ▼新世代株式会社様 健康スポーツ機器 (あかね荘)
 - ▼ボーリングクラブレビゲーム 豊橋善意銀行様 カレンダー寄贈 (若菜荘)
 - ▼(株)井関様 クリスマスマスケーキ (明日香)

さわらび 写真館

糸まき(若菜荘)▶
▼福祉村保育園の子どもたちと
いっしょに(第2さわらび荘)



個性が キラリ



● 絵画:「やさい」明日香 服部憲政 ● 陶芸「たこ」:あかね荘 手塚吉一

みんなの力でみんなの幸せを

2007年2月1日発行 早蕨 第406号

(認可62年2月21日第三種郵便物認可)

充実した医療と福祉

- 特別養護老人ホーム さわらび荘
TEL (0532) 54-3501
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- クアハウスカサ デ ローザ
TEL (0532) 37-1209
- 軽費老人ホーム 若葉荘
TEL (0532) 48-1138
- 身体障害者福祉施設 珠藻荘
TEL (0532) 47-1050
- 知的障害者更生施設 あかね荘
TEL (0532) 48-2825
- 福祉村病院
TEL (0532) 46-7511
- 知的障害者施設建設 明日香
TEL (0532) 46-6579
- 障害福祉サービス事業所 しろがね
TEL (0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東山町)
TEL (0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生
TEL (0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
TEL (0531) 24-0722
- 福祉村老人福祉施設 ジュゲム
TEL (0532) 46-7501

社会福祉法人 さわらび会

編集責任者: 武田和敏 印刷: 共和印刷 定価: 100円

■表紙作品: 豊橋に春を呼ぶ鬼まつり

編集後記

2月3日は何の日と聞かれれば大抵の人は節分と答えることでしょう。節分は、各季節の始まりの日である立春・立夏・立秋・立冬の前日のことですが、立春の前日の節分を指すことが多いようです。節分には豆まきをしたり、柊の枝に鰯の頭を刺したものを門口や門に立てたりするようです。これは昔、季節の変わり目には邪気が生じると考えられており、それを追い払うために行われたようです。最近では、関西地方の伝統行事が、全国的に広まった恵方巻きに人気があるようです。巻き寿司は「福を巻き込む」ことから来ており、切らずに食べるのは「縁を切らない」という理由があるそうです。ちなみに今年の恵方は、北北西。みなさんは何を祈りましょうか? 私は……(武田)